

定期作況報告

(第6号 平成17年10月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

9月下旬：最高気温は平年と同じであった。最低気温は平年より0.4 低かった。降水量は平年より27.4 少なく、平年対比36%であった。降水日数は平年より3日少なかった。日照時間は平年より2.4時間少なく、平年対比95%であった。

10月上旬：最高気温は平年より1.2 高かった。最低気温は平年より0.3 低かった。降水量は平年より8.3mm多く、平年対比119%であった。降水日数は平年より1日多かった。日照時間は平年より13.6時間多く、平年対比137%であった。

10月中旬：最高気温および最低気温は平年より各々3.6、0.7 高かった。降水量は平年より14.1mm少なく、平年対比54%であった。降水日数は平年より4日少なかった。日照時間は平年より30.4時間多く、平年対比176%であった。

9月下旬から10月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.2	19.2	0.0	17.2	16.0	1.2	18.1	14.5	3.6	18.1	16.6	1.5
最低気温()	7.8	8.2	0.4	5.7	6.0	0.3	4.8	4.1	0.7	6.1	6.1	0.0
平均気温()	13.0	13.3	0.3	11.4	10.6	0.8	11.0	9.1	1.9	11.8	11.0	0.8
降水量()	15.5	42.9	27.4	52.0	43.7	8.3	16.5	30.6	14.1	84.0	117.2	33.2
降水日数(日)	2	5	3	6	5	1	2	6	4	10	16	6
日照時間(h)	47.2	49.6	2.4	50.8	37.2	13.6	70.2	39.8	30.4	168.2	126.6	41.6

注1) 比布アメダス観測値により上川農試で算出。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。上川農試で算出。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : やや良

事 由:

[籾数]: 当たり穂数は中苗「きらら397」が平年並であるものの、中苗「ほしのゆめ」および成苗「きらら397」は平年に比べ少なかった。一穂籾数は中苗および成苗の「きらら397」で平年よりやや少なく、中苗「ほしのゆめ」は平年の90%で少なかった。その結果、当たり籾数(当たり穂数×一穂籾数)は中苗「きらら397」が31,000粒で平年よりやや少なく、中苗「ほしのゆめ」および成苗「きらら397」は27,000粒あまりで平年対比82~83%とかなり少なかった。

[稔実歩合・稔実籾数]: 稔実歩合は平年並であった。当たり稔実籾数(当たり籾数×稔実歩合)は平年対比 81~95%でかなり少なかった。

[登熟歩合・ 当たり登熟籾数]: 登熟歩合は中苗、成苗ともに平年をかなり上回った。 当たり登熟籾数(当たり籾数×登熟歩合)は中苗「きらら397」は平年並、中苗「ほしのゆめ」と成苗「きらら397」は平年をかなり下回った。

[精玄米千粒重]: 平年並であった。

[精玄米重]: 粒厚1.90 以上の収量は中苗「きらら397」が平年対比106%、中苗「ほしのゆめ」が同102%、成苗「きらら397」が同101%であった。

以上、収量構成要素調査地点の稲が小出来であったことから平年対比で数値が下回る項目があったものの、いずれの品種・苗も収量が平年を上回り、品種・苗をこみにした収量の平年対比は103%であった。このため、本年の作況はやや良である。

表2 収量構成要素・決定要素および収量

品 種 苗	当たり穂数(本)				一穂籾数(粒)				当たり籾数(×1000粒)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	698	708	10	99	44.6	46.0	1.4	97	31.1	32.6	1.5	95
ほしのゆめ 中苗	708	775	67	91	39.0	43.1	4.1	90	27.6	33.4	5.8	83
きらら397 成苗	622	744	122	84	43.7	44.7	1.0	98	27.2	33.3	6.1	82

品 種 苗	稔実歩合(%)				当稔実籾数(×1000粒)				登熟歩合(%)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	91.7	91.8	0.1	100	28.5	29.9	1.4	95	83.6	78.7	4.9	106
ほしのゆめ 中苗	90.8	91.2	0.4	100	25.1	30.5	5.4	82	88.6	80.6	8.0	110
きらら397 成苗	90.9	91.2	0.3	100	24.7	30.4	5.7	81	87.1	80.7	6.4	108

品 種 苗	当登熟籾数(×1000粒)				精玄米千粒重(g)				精玄米重(/10a)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	26.0	25.7	3.0	101	22.5	22.5	0.0	100	616	582	34	106
ほしのゆめ 中苗	24.5	26.9	2.4	91	21.9	21.9	0.0	100	560	550	10	102
きらら397 成苗	23.7	26.9	3.2	88	22.6	22.8	0.2	99	597	589	8	101

注1) 平年値は平成10~16年7カ年のうち平成10年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

- 2) 印は平年に比べて減を示す。
- 3) 稔実歩合: 触手で求めた。
- 4) 登熟歩合: 比重1.06の塩水選で求めた。
- 5) 千粒重・精玄米重: 粒厚1.90 以上。水分15.0%に換算。

2) 秋まき小麦 : 平年並

事由: 播種期は平年より1日早い9月6日であり、出芽は良好であった。現在のところ、草丈は平年より高いが、茎数及び葉数が平年をやや下回っている。しかし、生育は概ね順調であり、大きな障害も認められない。

したがって、目下の作況は平年並である。

表3 10月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	播種期(月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本 /)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホクシン タイセツコムギ	9.6	9.7	1	31.9	29.6	2.3	1610	1712	102
	9.6	9.7	1	33.8	30.8	3.0	1612	1656	44

品 種 名	葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較
ホクシン タイセツコムギ	5.4	6.1	0.7
	5.2	5.9	0.7

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年を除く5か年の平均値(収穫年度)。
2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

3) 大 豆 : 良

事由: 成熟期は「トヨムスメ」が平年より2日早く、「トヨコマチ」は平年並みであった。主茎長は両品種とも平年を下回ったが、主茎節数は平年並みで、分枝数は平年をやや上回った。「トヨムスメ」は、着莢数が平年よりやや多く、百粒重が平年を上回ったため、子実重は平年比119%と多収となった。「トヨコマチ」は、着莢数は平年並みで、百粒重が平年より極めて重く、子実重は平年比107%であった。両品種共に、屑豆率は平年よりも低かった。

したがって、目下の作況は良である。

表4 成熟期の大豆の生育および収量

品 種 名	成 熟 期 (月日)			主 茎 長 ()			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ トヨコマチ	9.27	9.29	2	56	61	5	10.2	10.2	0
	9.21	9.21	0	59	64	5	10.8	10.8	0

品 種 名	分 枝 数 (本 / 株)			着 莢 数 (個 / 株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ トヨコマチ	7.6	7.0	0.6	81	75	6
	7.1	6.2	0.9	71	72	1

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			対平年比 (%)
	本 年	平 年	比 較	
トヨムスメ	506	433	73	119
トヨコマチ	439	412	27	107

品 種 名	百 粒 重 (g)			屑 豆 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ トヨコマチ	41.9	38.2	3.7	0.9	1.9	1.0
	41.2	36.0	5.2	1.2	1.5	0.3

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年及び平成14年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

4) 小豆 : 平年並

事由: 百粒重は「サホロショウズ」では平年に比べ1.5g軽かったが、「エリモショウズ」では平年に比べ0.3%重かった。子実重は「サホロショウズ」では平年比93%、「エリモショウズ」では平年比100%であった。屑豆率は両品種とも平年より低かった。

したがって、目下の作況は平年並である。

表5 小豆の収量

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			
	本 年	平 年	比 較	対平年比 (%)
サホロショウズ	347	371	24	94
エリモショウズ	370	371	1	100

品 種 名	百 粒 重 (g)			屑 豆 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	12.4	13.9	1.5	0.7	2.5	1.8
エリモショウズ	13.0	12.7	0.3	0.9	1.5	0.6

注1) 平年値は、前8か年中、平成14年(最豊)、平成11年(最凶)、平成12年(参考)を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

5) ばれいしょ : 平年並

事由: 「農林1号」の枯凋期は平年に比べ大幅に遅い10月8日であった。上いも重および中以上いも重はともに平年対比97%であった。でん粉価は平年に比べ1.4%低く、でん粉収量は平年対比86%と低収であった。

「男爵いも」の枯凋期は平年に比べ大幅に遅い9月15日であった。上いも重は平年より327kg多く、また、中以上いも重も平年より365kg多く、平年対比107~109%であった。一方、でん粉価は平年より1.0%低かった。

したがって、本年の作況は平年並である。

表6 10月20日のばれいしょの生育

品 種 名	枯 凋 期 (月日)			上いも重 (kg/10a)			中以上いも重 (kg/10a)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
農林1号	10.8	9.19	19	5584	5779	195	4979	5123	144
男爵薯	9.15	8.23	23	5193	4866	327	4415	4050	365

品 種 名	でん粉価 (%)			でん粉重 (kg/10a)			収量平年比 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	上いも	中以上	でん粉
農林1号	14.0	15.4	1.4	724	841	117	97	97	86
男爵薯	13.1	14.1	1.0	628	636	8	107	109	99

注1) 平年値は、前7か年中、平成11、15年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

6) てんさい : 平年並

事由: 収穫は平年より3日早い10月14日に行った。茎葉重は平年より重く、根重は平年よりやや重いと考えられる。根中糖分、糖量は今後分析する予定である。

したがって、目下の作況は平年並である。

表7 収穫期のてんさいの生育、収量

品 種 名	収穫期(月日)			茎葉重(kg/10a)			根重(kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	10.14	10.17	3	4971	4854	117	(9852)	7902	(1950)

品 種 名	根中糖分(%)			糖量(kg/10a)			平年比(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	-	17.02	-	-	1338	-	-	100	-

注 1) 平年値は前7か年中、平成11年、15年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示し、は平年より減を示す。

3) 根重は本年は土砂付き重量を、平年値は土砂引き重量を示す。